

## 付録 A : 用語説明

- ・ 空間線量率（線量当量率）

対象とする空間の単位時間当たりの放射線量を表し、一般的には  $\mu\text{Sv/h}$ （マイクロシーベルト/時）の単位の線量当量率を指します。

- ・ 表面汚染密度

放射性物質を含んだ溶液や粉末を飛散させたり、あるいは、それらによる空気汚染物質の一部が沈着したりして、身体、土壌、建物の壁や物体等の表面が放射性物質で汚染されている状態を表面汚染といいます。そのレベルは、単位面積当たりの放射能 ( $\text{Bq/cm}^2$ ) で表します。これを表面汚染密度といいます。

- ・ 除染係数( Decontamination Factor; DF )

除染前後の表面汚染密度の比であり、下式で表します。この除染係数 (DF) が大きいほど、汚染物質が取り除かれていることを意味します。

$$DF = \frac{A_{\text{Before}}}{A_{\text{After}}}$$

$A_{\text{Before}}$  : 除染処理前の表面汚染密度 ( $\text{Bq/cm}^2$ )

$A_{\text{After}}$  : 除染処理後の表面汚染密度 ( $\text{Bq/cm}^2$ )

- ・ 線量率減少係数( Dose Rate Reduction Factor; DRRF )

除染前後の空間線量率の比であり、下式で表します。この線量率減少係数 (DRRF) が大きいほど、除染による線量率の低減が大きいことを意味します。

$$DRRF = \frac{D_{\text{Before}}}{D_{\text{After}}}$$

$D_{\text{Before}}$  : 除染処理前の空間線量率 ( $\mu\text{Sv/h}$ )

$D_{\text{After}}$  : 除染処理後の空間線量率 ( $\mu\text{Sv/h}$ )